

京都市観光協会 DMO発足記念シンポジウム

京都観光ビジョンNEXT~世界の観光をリードするエキスパート集団を目指して~

京都市観光協会は、観光庁からDMO登録法人の認定を受け、観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、機能強化を図っております。

本年4月には、京都文化交流コンベンションビューローが実施してきたインバウンド事業の移管受入が完了し、6月に開催した通常総会では平成30年度から3カ年の経営戦略を発表したところです。

これらの取組について、会員の皆様にご報告し、今後のDMOのあり方について有識者から提言をいただくシンポジウムを開催いたします。奮ってご参加ください。

DMOとは~Destination Management/Marketing Organizationの略で、観光庁が推進する新たな「観光地域づくりの舵取り役」のこと

平成30年

9月18日(火)

●シンポジウム

14:30⇨17:30

●会員の集い(立食懇親会)

17:45⇨19:30

会場：ウェスティン都ホテル京都 瑞穂の間
(東山区粟田口華頂町1: 地下鉄東西線「蹴上駅」下車 徒歩約2分)

対象：公益社団法人京都市観光協会会員
(公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー賛助会員の方もご参加いただけます)

定員：500名(事前申込先着制)

参加費：無料

主催者挨拶 (14:30)

柏原 康夫 (公益社団法人京都市観光協会 会長)

来賓挨拶 (14:35)

門川 大作 (京都市長)

田端 浩 (観光庁長官)

寺田 一博 (京都市会議長)

プレゼンテーション (14:50)

糟谷 範子 (京都市観光政策監)

室 博 (西日本旅客鉄道株式会社 執行役員鉄道本部営業本部長)

高畑 重勝 (公益社団法人京都市観光協会 専務理事)

記念講演 (16:00)

世界基準を目指して
京都が変わらねばならないこと

デービッド アトキンソン

(株式会社小西美術工芸社 代表取締役社長/京都国際観光大使)

パネルディスカッション (16:30)

京都市版DMOの使命とその役割

モデレーター:

若林 靖永 (京都大学経営管理大学院 教授)

パネリスト:

門川 大作 (京都市長)

松坂 浩史 (文化庁 地域文化創生本部 事務局長)

矢ヶ崎 紀子 (東洋大学国際観光学部 教授)

デービッド アトキンソン (株式会社小西美術工芸社 代表取締役社長/京都国際観光大使)

北原 茂樹 (一般社団法人日本旅館協会 会長)

※シンポジウムの内容は予告なく変更になる場合がございます。

京都市観光協会DMO発足記念シンポジウム

京都観光ビジョンNEXT ～世界の観光をリードするエキスパート集団を目指して～

参加ご希望の方は、下記申込書に必要事項をご記入の上、以下のFAX番号へ送付してください。

FAX:075-213-1011

申込締切：平成30年 **9月10日(月)**

連絡先:公益社団法人京都市観光協会 国内誘客推進部 DMOシンポジウム担当

TEL：075-213-0020 平日 9:00～17:00

【参加申込書】 **京都市観光協会会員、京都文化交流コンベンションビューロー賛助会員限定となります。**

社名・団体名	☐ 京都市観光協会会員 ☐ 京都文化交流コンベンションビューロー賛助会員 ※どちらかにチェック		
連絡担当者氏名		役職	
電話番号		E-Mail	

参加者氏名		役職	
シンポジウム (14:30～17:30)	☐ 参加	☐ 不参加	※どちらかにチェックしてください
会員の集い (17:45～19:30)	☐ 参加	☐ 不参加	※どちらかにチェックしてください

参加者氏名		役職	
シンポジウム (14:30～17:30)	☐ 参加	☐ 不参加	※どちらかにチェックしてください
会員の集い (17:45～19:30)	☐ 参加	☐ 不参加	※どちらかにチェックしてください

連絡事項

--

事務局使用欄

--